

K O B E

神戸の広報紙 やさしい日本語版 2023年1月

暮らしを変える“起業家”たち



区役所の手続き、子育ての支援金など、わからないことがあれば、

神戸国際コミュニティーセンター

(KICC) に電話しましょう!

☎ 078-742-8721



website



編集:神戸市長室国際部国際課

起業をサポートする 神戸の支援制度

Support #1: Urban Innovation KOBE

神戸市が解決したい課題があります。その課題を解決してくれる企業を支援します。



website

Support #2: 食のスタートアップ支援事業

対象: 今後、神戸で飲食店を開業したい人。
内容: 3か月間、仮の飲食店を開業する場所を使えます。
場所: 阪急オアシス神戸三宮店の地下1階



website

サモ キュイジーヌ フランセーズ
samo cuisine francaise
オーナーシェフ 仲塚 元秋さん

Support #3: 神戸開業支援 コンシェルジュ

起業や開業について、無料で相談できます。
相談できることは、例えば、社会保険、税金、法律のことです。



website

新型コロナウイルス感染症のことを考えて 災害が起きた時の避難について

①一番安全な避難場所を考えましょう

地震などの災害が発生した時、下の場所に避難することができます。

①在宅避難:

安全な場合は自宅避難

②分散避難:

親戚や友人の家、ホテルなどへ避難



③緊急避難場所:

危険なときは、すぐ避難場所へ

緊急避難場所だけでなく、自宅での在宅避難や友人の家などの避難も方法の一つです。事前に、家族や友人と「だれが」「どこに」避難するのか、ルールを決めておきましょう。

また、非常時の持ち出し品に、マスクや消毒液も準備し、避難場所でも、手洗いや咳のマナーなど、基本的な対策を守りましょう。

④スマホで避難場所の状況が確認できます

下のWebsiteで、確認できること:

- マップで、確認したい場所から近い100カ所の避難場所を見ることができます。
- 混雑状況は、「混雑」「やや混雑」「空いています」などで見ることができ、人が多い場所に行かない避難場所が選べます。



website

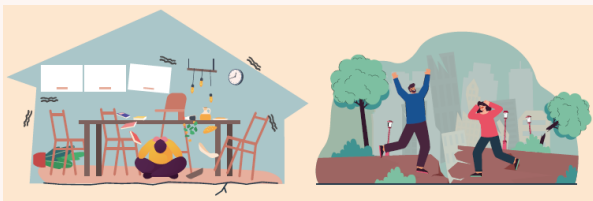


さいがい じゆんび
災害の準備をしましょう

いつも 昼に地震が起きるか分かりません。1995年1月17日の阪神・淡路大震災は、午前5時46分の夜に起きました。明るい時間だけでなく、夜に起こる地震にも準備する必要があります。

家の中:固定されていない家具や食器のガラス片などが散乱しています。また、停電になると足元も見えないため、部屋から出ることも難しくなります。

家の外:道路上にあるがれきや割れ目に気づけないことがあります。また、避難経路のサインなども見えません。



しんしつ じゆんび べんり
寝室に準備すると便利なアイテム

口スリッパ・靴:ガラス片などでの足のけがを防止できます。

口ライト:周りを明るくして、安全の確保ができます。両手を自由に使えるヘッドライトがおすすめです。

口笛:閉じ込められたとき、自分のことを周りに知らせることができます。大きい声を出すより体力を残せます。

あんぜん ひなん
安全に避難するために

ドアや避難経路を塞がないように、壁にL型金具でネジ留めするなど、家具が倒れないように対策しましょう。



website

こうべし ちかてつ とく
神戸市バス・地下鉄の取り組み

市バスと地下鉄が安く利用できます!



さんのみや
①「三宮・エリア110」

三ノ宮の中心では、エリア内のバス停間をICカードで利用すると、210円から110円になります!



website

せいど
②エコファミリー制度

土曜日・日曜日・祝日などの休みの日に、大人と市バス・地下鉄に乗ると、小学生までの子どもの料金が無料になります!



website

ちかてつかいがんせん ちゆうがくせいいか
③地下鉄海岸線の中学生以下フリーパス

中学生以下なら、地下鉄海岸線がバス有効期間中は、無料で乗り放題になります。海岸線には、ハーバーランドやノエビアスタジアムなど、魅力的な場所がたくさんあります。



website



わだみさき いてん
「こべっこランド」が和田岬に移転



ハーバーランドの「こべっこランド」と子ども家庭センター(児童相談所)が、2月に兵庫区の和田岬へ移転します。

こべっこランドでは、一部のイベントを除いて、無料で遊具や遊び場を使用することができます。また、イベントや講座に参加することができます。

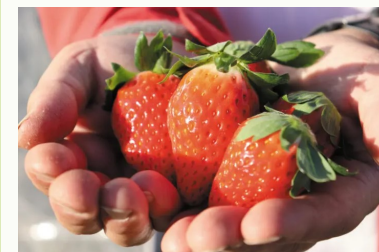
移転した後は、屋内の色々な遊具や芝生などがあり、屋外の遊び場も新しくなったので、子どもが開放的な空間で楽しく遊べます。

しよく まち こうべ
食の町神戸:
こうべさん
神戸産いちご

神戸では1920年代からいちごの栽培が始まり、スイーツ文化を支えてきました。時期や品種によって、味や大きさも様々です。

甘みが強く形が崩れにくい、スイーツ向けの「やよいひめ」。柔らかく酸味がまろやかで、子どもも食べやすい「章姫」。そして、果肉の中心まで赤く、華やかな香りの「紅ほっぺ」など、種類豊富ないちごが、北区や西区で栽培されています。

神戸市内の直売所やファーマーズ・マーケットでも買うことができます。自分が好きないちごを探してみましょう。



website

